

秋の夜長に

『ドクター・ボブと素敵な仲間たち』

はいかがですか？

期間限定キャンペーン

2,940 円 → 1,980 円

2011 年 11 月 1 日 ~ 2012 年 1 月 31 日

AA には、共同創始者たちの個性の違いをネタにした古い冗談があります——

「もしもビルが一人で AA を取り仕切っていたなら、AA は 50 年も前に巨大なコングロマリット（複合企業）に売り飛ばされていたことだろう。しかし、もしもボブだけだったなら、AA はいまだにオハイオ州アクロンから出ることはなく、ただその街の住人は全員、酒を飲まなくなっていただろう」

この表現からもわかるとおり、ビルとボブのビジョンや考え方は大きく異なっていました。そんな二人が、どのようにして草創期の AA を先導していったのか興味深いですね。そんな二人だからこそ、AA はここまで成長したのかもしれない。。

どんなことが書かれているのか、ちょっと見てみましょう

 **ビッグブック騒動 !?**

ビッグブックの出版をめぐって飲んでしまった人がいた本のおかげで飲んでしまったと言い張る男がいた。（本の目的が人びとをしらふにすることだったのだから、これは興味深い反応である）。ドクターとビルは、一山あてようとしているんだ、と思い込んだその男は、自分も分け前が欲しかった。だれも相手にしなかったから、ついに頭にきた彼は、飛び出していき、そして飲んでしまった——。

 **ルールだらけの AA !?**

ミーティングの入口には、酒のにおいをチェックする人が立っていた

数杯の酒を飲んだ男が、ミーティングにふらりとやって来たとき、「スニフターズ（入口に立って酒の臭いがしないかどうか、一人ひとりを嗅いでチェックする人）」がその男を戸外に放り出したことがあった。そのとき、だれかが「中に入れてやれよ。そいつだって、何か感じるものがあるかもしれないじゃないか」と言ったのだが、これは初めてのケースだったのである。

😊 マイノリティ (少数派)

初期の女性が回復できたのは妻たちのサポートのおかげ

男が男を、女が女を手助けするべきであるという考え方は、その妥当性が経験によって証明される以前に、AA が存続していくための手段として導き出されていたという。だが、問題は、新しい女性たちを手助けする女性の AA メンバーがほとんどいなかったということであり、そのために、妻たちがこの役割を続けていたのである。

😊 ボブのビジョン その 1

幸福と心の平安

私たちは幸福と心の平安を追いかけている。かつてはアルコールという手段を使って追いかけていたが、いまは、スピリチュアリティの法則を見だし、それらを身につけ実践することによって、幸福と心の平安を獲得できる。それには従うべき規則がいくつかあるようだが、幸福と心の平安は、いつでもここにあり、それはだれにたいしても自由に開かれている。

😊 ビルとの最後の会話

ゼネラルサービスの運営をめぐる激しい対立と混乱が生じていた。相談に訪れたビルが帰ろうとしたとき、ボブはこう言った。「台無しにするなよ。シンプルのままでもいい」ビルはふり返ることができず、何も言い返せなかった。



AAWS の許可のもと "Dr. Bob's Farewell Talk" より転載

😊 ボブのススメ その 1

真面目でユーモラス、ざっばらんだがスピリチュアル、社交的でシャイ、友好的で超然としたボブゆえの名言

- ✓ 私たちは、「みなさん、私を見てください。立派でしょう」と言いかねない。飲まなくなったからといって、はたして自慢できるだろうか？ 飲まないでいることも、ただ、神の恵みによって達成されたものなのだ。飲まないでいる特権を与えられ、私は感謝の気持ちで満たされる……。私の力が神から来るとすれば、自慢する私とは、はたして何者なのだろう。
- ✓ 2、3 杯じっくり飲んで、残りには栓をしておきなさい。もし君が、それっきり飲まずにホテルに 2、3 泊滞在できれば、君には私たちは必要ないということだ。
- ✓ アノニミティを大事にするあまり、ほかの酔っぱらいが連絡をとろうと思ってもできないようにしてしまうことは、公的レベルで個人名を明かす人とおなじように、伝統に違反している。
- ✓ 私たちの 12 のステップを煮詰めてみると『愛』と『サービス』になる。この二つを心に銘じておこう。そして、過ちをおかす身体器官である舌を警戒しよう。言葉を使う必要があるときは、親切、熱意、忍耐の心で、それを使おう。また、私たちが AA に案内してくれた人への感謝を忘れずに、その偉大なサービスを次の人に手渡していこう。